### 鎌倉時代 の千葉 HJ 村

0 21年8月 保立道久

#### 千葉開 府九 八〇〇年へ 、のロー ドマップ (千葉市。 2019年)

た」との記録が残って います

# 葉常胤と鎌倉幕府

# ①常胤は頼朝の義父

頼朝

上総・千葉氏の保護の下に鎌倉に入部した伝の父・義朝が「上総曹司」

## 蜂起前からの合意

安房から常胤に使者。子の胤頼(文覚を師)子の別頼(東覚を師) (園城寺僧、 頼朝の祈祷師、 迎えに参上と返事の北条訪問。 以仁王蜂起で戦死)。

### 八〇年九月、 安房へ向 かう前に下総で合戦。

下千 ()をもって父たるべき由」(『葦鱧』 〜 4年9 呉、副は8の総国府で頼朝は初めて面会した常胤に対して、「司葉結城浦から頼朝を下総国府に入れる『玉艶(鱸/)との合戦、殺害。総目代・藤原親政(忠盛婿)との合戦、殺害。 司馬は掾の唐名)

八〇年一〇月、富士川 千 関西に至るべし」と主張。 葉常胤・三浦義澄・上総広常ら ・上総広常ら「まず東夷を平ぐの」合戦勝利後の軍議を主導

#### 一一八○年末広常の宅から、頼朝、新造幕府②鎌倉入り直後の常胤・広常の高い地位 翌八一年 常胤、 月鶴岡八幡宮社参の椀版沙汰 新造幕府に入御

人

常胤・広常は御家人ト ップ

# っていた」・・・・↑

「慕

常胤の義父としての行動

八一年六月 【仮説】広常は義経、 大姫六歳小御所新造

# 常胤は大姫の世話。心・移転も沙汰

八二年八月、八二年三月、 政 子 の頼家妊娠、 常胤妻が腹帯調進。 嫡子

Ź. 頼家誕生のお七夜、 家内を挙げて主

(常胤の権威、 極点)

頼 以**朝** 仁・ 王の遺児を推戴する路線: **義仲同盟を主導** 広常  $\mathcal{O}$ 配

## ③ 常 胤・ 広常の幕府中枢からの疎外

八三年三月木曽義高(一 時に通っていることに気づかなかった(空音監督を通説は五歳とされる。頼朝が伊藤祐親娘と政子に同 一歳) と大姫 (八歳) の婚姻

頼朝の反発

て大姫と義高の関係にも関与せざ

#### るをえな V · 立場。 苦 衷。

### 4 常胤の評価ー 悪いことをしてい な

永井路子 『炎環』。 鎌倉幕府。 テロに 続く テ

### 葉氏と三浦氏

千

しどをしらぬぞとよ」と罵られ、「三浦犬は友を食らふ座上に座っている義村の上に座ろうとして、「下総犬は和田合戦の後の正月鶴岡椀飯の際、常胤の曾孫・胤熠三浦義村は同族の和田義盛を裏切った。 と罵り返した。 、「下総犬はふい曾孫・胤綱が

広常誅殺後の冷遇を甘受した千葉氏の誇りを物語

下総・上総が、武家幕府の中枢に居続けたか頼朝ほど猜疑心が強い武王でなければ、常胤 Ł • 知広 れ常 な

# Ⅱ「千葉開府」と千葉氏 の

①千葉町は河曲駅の継承

六世紀、 千葉国造の 時代にさか  $\mathcal{O}$ ぼる。

#### 視野が必要。開府九〇〇年より ず っと古く、 より 長い

·葉寺 から北。 郡寺 千葉寺: 簗瀬 裕 \_\_ 説

## 下総の駅(「延甍」兵部省)

河曲駅 その位置・・・・井上 私説:より猪鼻台に近いか。「駅(通説、猪鼻南の寒川村)の位置・・・井上駅(国府周 辺、 市 Ш 市 浮島 駅 (幕張)

河曲の地名。猪鼻台から都川の屈曲猪鼻台下の現県立図書館近辺。 の乱流を見 駅馬 〇疋

いる。

## ②千葉開府ーーニ六(<) (2) 年・ 子 ・そのまま依拠できるか

学集抜粋』

『千学集抜粋』。妙見宮を中心に中世の情報が今まる也。七世常重(常胤父)御代の事せ(中略)。千葉御神書に 軒也。 大治元年丙午六月朔、 g)。千葉御神事は、大治二年丁末七妻八千軒、裏八千軒、小路表裏五百元年丙午六月朔、初めて千葉を立つ 大治二年丁末七月十六日より始れ、小路表裏五百八十餘小路也。 凡そ一萬六千 始

含む

# ③千葉市行事として維持してよい歴史的理由 院領庄園千葉庄立庄

の年

### 千葉庄は八条門院領。 白河院末年。

り、全ななない。 遺児) ごかの保護者。千葉氏の行動の前提立荘の時代がだいたい合致。八条院院(障子、鳥羽天皇皇女)領の庄園 は以仁 王証 一(及が びあ

千葉郷全域を対象とする巨大庄園。「先祖千葉大夫、元永以後、当庄の検非違所たり」『臺灣立荘の当事者は常胤の父、常重か仲政元永一年(一一一八)下総守証あり、立荘の仲介は源頼政の父、下総国司源仲政

## 非常に大規模な動き。 頼政との関係

### 猪鼻台についての研究の現状 **④**ただし 千葉城」 は正しくない

儀式用の「カワラケ」がおもな遺物。千葉氏の館城とすることは難しい。千葉氏関係だが、性格不明。戦国期は十三世紀まで館といえる建物なし。4 難しい。戦国期は世 生実の原氏を十四世紀の館 館遺構は か

年近く前、六浦の「上行寺東遺跡」川の「御殿山」。宮城県の松島のよ「湊のみえる丘」。灯台の機能。墓 跡」の保存運動の中で常識化のような港のそばの聖地。四。**墓城また神祠のある聖城。** 兀 化 〇品

- 1 -



後詰めの城ではあった・・・・武士は後山に逃げ込む。 美濃源氏光国、 源義家の 急襲を受け逃げ込む(『喜談第四)

千葉市にとって重要な観光資源。「千葉城」建設時ージし、それを郷土自慢とするのは事実にあわない。 猪鼻が城であると記している。城というと徳川時代の城をイメ千葉県教委(HP)は千葉市の「ロードマップ」とは違って、

推定する困難な作業を残した。壊。後詰めの城の機能を含め、残存物に基づき復元に必要な調査と保存がされないまま遺跡の多くが破に必要な調査と保存がされないまま遺跡の多くが破

# ⑤千葉氏の館はどこか?

堀

頼朝安房上陸の後、

吊胤邸「門前」で案内を請い「客亭」に1**房上陸の後、使者常胤館に到着**(『臺鱧) ||世紀までの武士領主の館は平城、土塁 常胤は門客を率 いて参上すると答えた。 「客亭」に通されたとある。

一般に武士領主の館は市町から少し離れたところ 第二候補「千葉庄堀内光明院」(現在地寒川神社南)? 徳川期の千葉町絵図に「御殿前、御殿入口」 は土居と堀に囲まれていた。 千葉氏館の場所――千葉地方裁判所、方一町(10以)?。 客亭があり、周辺には門客の家。

# 般に発掘調査なしには確定できない。

# 「千葉開府」と千葉の市町

### 1 「大治元年、 初めて千葉を立つ」の意味。

X 館・城を立てるではない

本市の都市

◯『千学集』は「千葉の市町を立つ」という意味で使用 (より正確には 「立庄」)

下総最大の都市、 (市川中 (市) に対して 心地として発展の起点

## ②市町興行・・・ 「市町を立てる」

遊女・夜発の輩・・・」番匠・廻船人・梶取・商人・酒売・土器作・白拍子・らふべきなり、招き居うべきの輩は、鍜治・鋳物師・らふべきなり、招き居うべきの輩は、鍜治・鋳物師・しめ、絹布之類・贄・菓子、売買之便有るの様に相計・『田 単行、市町は、辻・小路を通し、見世棚を構え

歴史学と庶民の立場・・・・庶民の集まりが町を作る。 『庭訓往来』 (南北朝朔の成立)



町屋と見世棚

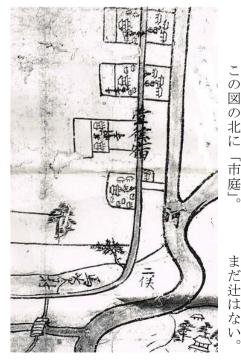
3 筋町から辻町へ

計画) 安芸国沼田庄

には商工民を集めて、場野の産物、海の産物、**見世**と小路を通し、見世の自然発生) | | ↓都市計画 辻は道路の分岐、 三辻を意味 見世棚を構えさせ、 据える(町屋を作らせる)。山の木のみ)などを売買す (だから四辻という)。 、する。 町窠

#### 尾張国富田荘絵図 萱津宿 (鎌倉時代) 筋町」

この図の北に 「市庭



# 安芸国沼田庄の市町

#### 「辻町」

- 両端に 中に小路を通す

シの ような形

が会うこと。 辻」 はツムジと同じで物



# ④鎌倉時代の千葉町

非常に小さいところから発展した、

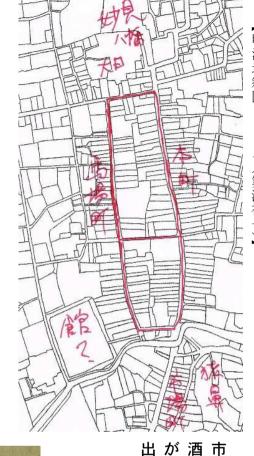
### 徳川 期の千葉町図、

通)の作る細長い長円形本町通(千葉神社・郵便局・**期の千葉町図、現状の地籍図** 美術館) と吾妻町通 (裏町

**千葉市街地の発掘調査に期待。** この史料は東国地方都市の唯一の「売酒」史料り、東国の「沽酒」「市酒」の販売禁止令を発し、鎌倉時代後期、幕府は、鎌倉市中の酒甕を叩き割

たった。た

【明治地籍図ト ス (簗瀬裕一)】

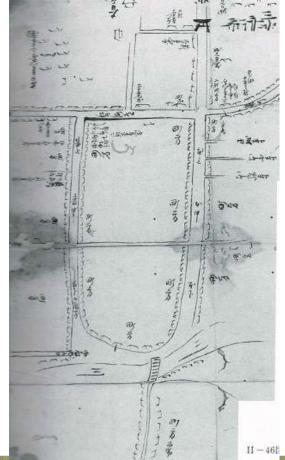


市庭に 酒 屋 出してる

が酒壺を



徳川 時代、 千葉町絵図】 (郷土博物館寄託



**鎌倉に似た都市計画。**十三世紀半ば (簗瀬裕

千葉はさらに北斗神=妙見宮をその北に置く。市の北の中心に鎌倉鶴岡のように八幡宮を置く。妙見(現在の千葉神社)・八幡区域の形成

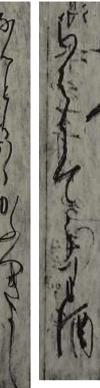
# 辻町

実情の解明は今後の考古学的調査に期待。 一二世紀頃は町の道は一本?この時は本町通りのみ?大治元年(一一二六)まで上るかどうか 一の形成はそれ以前

### ⑤富と酒屋

の間違い。客人のための「御まうけ(設県史では「御まう人」と読むが、「まら「仰せかぶりて候、御客人の御儲けの寓「千葉売り酒」の史料 (設、 まら人の事」 儲)」 儲)」の相談。 (まらうど)\_ と始まる手! 紙

### 「千葉にてう ^酒なんど候はば、 買ふべき由」



備前福岡市の情景

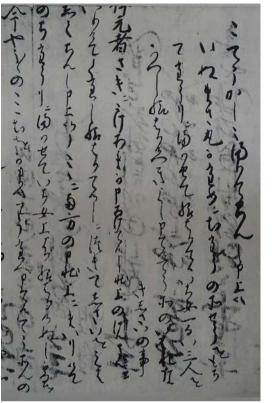
(高校歴史教科書では必ずでる絵)

(『一遍聖絵』)

⑥有徳の女房 「胡蝶陳状」 「胡蝶陳状」 「胡蝶陳状」 「お蝶陳状」 「お蝶陳状」 「お蝶陳状」 「お蝶陳状」 「お蝶原状」 「お蝶原状」 「お蝶原状」 「お蝶原状」 た、それた下 それを奪おうとするに下女の売券を守り代 る袋



- 3 -



月。

千葉でも同じこと、

平安末期にさかのぼる。

の由」と賞賛された「所領内に市を立て

(『吾妻鏡』 文治

商工民、

そして領主が館を構える

めて貴重な事例川期町絵図に「町縁・・・・多くは河1

「町」

方市

庭

ŧ

る。

交通網

# 彼女自身の筆跡。

『頬焼阿弥陀物語』(絵巻、

能角寺 大慈恩寺 次浦 本佐富 大福寺 東禅寺 椿海

文为天平八八七

三崎庄

绿龙小

#### **7** 日 :蓮聖人と千葉

と忠告

电视机

隅田

人

手賀沼

下総国府

印旛沼

本円寺

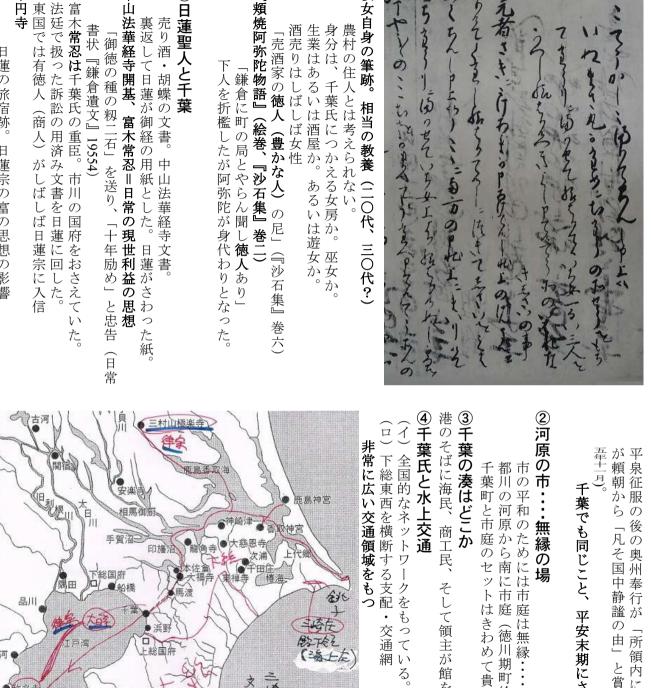
日蓮の旅宿跡。 日蓮宗の富の 思想の影響

### IV 千 葉の市庭 奏と住

### ①市と「市の平和」につい て

一四世紀以降に定期市ができる。以前の古い考え方 そ  $\mathcal{O}$ 前 は 自給経済

「市の平和」 の政策理念



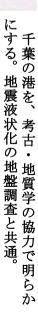
SIE

事务 財政 (編上左

庄から千葉庄) 銚子・霞ヶ浦。 印旛 沼 カコ Š 鎌倉に繋がる東西交通 (三﨑

神奈河

律宗の寺院の分布ル



#### 参考文献

簗瀬裕一 ついて~ 「中世の千 葉 ·千葉堀: 内 の景観に

**乳**子 葉い まむか L  $\overline{\Box}$ 第 1 3号)

(野口実編『千葉氏の研究』名著出版)保立道久「日蓮聖教紙背文書、二通」

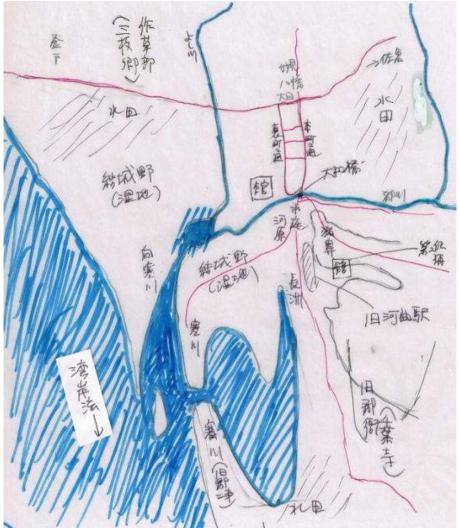
(佐藤博信編『中世東国の社会と文化』千学抄抜粋の酒呑童子説話をめぐって」「藤原保昌伝説と千葉氏

岩田 [書院)

「遠 内 山 海を臨っ む都市

(『千葉市 千葉大学: 入学公開市民講座講演録』 水陸交通の視点から」 千葉

『千葉市史』 『千葉県の歴史』



## 訴状を読む V 武士 領主と 村 寺山郷百姓橘重光重

# ①千葉家臣団はどこに住んでいたか

家臣集住は足利時代後期?千葉町にはすんでいない。 守護の 更像は 11 たろう が

# 谷戸田を開発し、広く下総下総の谷戸田の丘に住んでいた

広く下総中に付き合いをもつ領主たち。

# ②交通路にそった領主の連合

# 千葉町と繋がる交通路にそって

から戦国時代まで変わらな

# 千葉氏の歴史は谷戸田領主の合従連衡

ら平山に移動なども同じ問題千葉宗家が十五世紀東国足利内紛 (享徳の乱) で千 -葉か

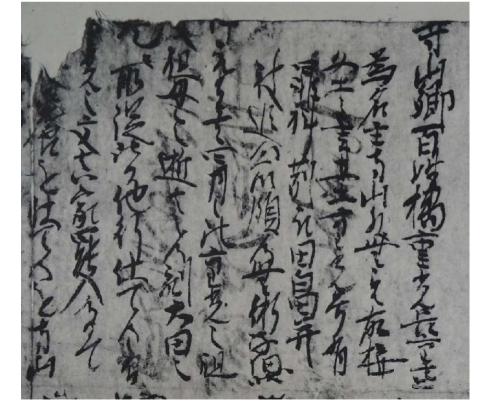
## 3 「大治元年、 初めて千葉を立つ」の最後の謎

九○○年の時までに謎がとけるかどうか。常重が大椎から遷ったこと(事実確認不能)

# ④領主寺山殿の乱暴への百姓の抗議

い出した。困っている。 重光に罪科があると号し 要約。名主の寺山殿が理 あると号して、田々い殿が理由なく、 田畠を刈り取り、御領を追く、言葉だけの訴訟を企て、 で領を追

らん。死罪に処す。 御大田植の祭のときに忌中で仏事をしたのがけしか 山殿が橘重光を脅迫



若葉区寺山の二十五里城を寺山城といった⑤寺山郷とはどこか。



### 歴史の破壊。

まとめ

らない 明 治維新 廃仏毀釈。 千学集原本も

(ハ)「高度成長」・ (ロ) アジア・アメリカ戦争、 乱開発。 千葉大空襲

文化の豊かさは「民富」と社会の幸せ。

### の伝統 ①千葉市開府八〇〇年を大正末年に開 催

きた。デモクラシー期に実現し都市計画の基礎がで全国で七七番目と市制施行が遅れたが、大正

P

-

# てほしい。②都市計画の中に遺跡発掘と保存を入れ

町の図の作成。 現在の地図と歴史研究結果を重ねた中世千葉

东。按差

保存のあり方を抜本的に検討してほしい 文化財破壊の結果を振り返り、 研究・ 調査

# ③歴史教育を史料と事実にもとづいて

高校生には文化財破壊の歴史も伝える。中学生には筋道を立てて。小学生には分かりやすく。

空からみた東寺山門

よく中 千葉は 発掘調査に ように 、鎌倉と競争してほしい。に市内で改築のたびに発掘調調査によるほかない。鎌倉の中世都市が分かる町。研究はは(鎌倉以外で)関東で最も

▲V-201团

车车等路

東

町

~西午菜駅

#### - 5